

献立ひとくちメモ

10月6日(水)



りんごのお話です。

今日のりんごは、農薬をあまり使わずに育てた「特別栽培農産物」で、長野県産の『秋映』です。

昔、中国の小さいりんごが日本に伝わり、品種改良を繰り返して明治時代に大型で甘いりんごが生まれました。現在、世界で約15000種、日本だけでも約2000種あるといわれています。

りんごの旬は秋から冬にかけてです。『秋映』は長野県のオリジナル品種で、「長野りんご3兄弟」(秋映、シナノスイート、シナノゴールド)の一つです。皮が少し黒くて、甘味と酸味のバランスがよく、果汁たっぷりでおいしいです。